

|        |                     |   |                           |   |         |           |         |         |        |
|--------|---------------------|---|---------------------------|---|---------|-----------|---------|---------|--------|
| 事業名    |                     | 県営畑地帯総合土地改良事業   |                           | 路河川名等   |         |           |         |         |        |
| 事業毎の通番 |                     | 1   | 市町村名                      | 松本市   |         | 箇所名(ふりがな) |         |         |        |
|        |                     |   |                           | 古池原(こいけはら)  |         |           |         |         |        |
| 事業概要   | 事業目的                | 本地区の畑かん施設は昭和44年～昭和45年に国営付帯県営かんがい排水事業及び第1次農業構造改善事業で整備されたが、築造より45年以上が経過した石綿管等であり、老朽化による破管や加圧散水エリアの不安定な圧力のため散水に支障をきたしている。<br>このため、畑かん施設の更新、加圧ポンプの検討を行い、用水の安定供給と維持管理費の軽減を図る。<br>また、降雨時には農道路面からの排水が畑へ侵入し、作物の生育に支障をきたしているため、水路兼用道路を整備し営農基盤の改善を図る。 |                           |   |         |           |         |         |        |
|        | しあわせ信州創造プランにおける位置付け | 1-3 夢に挑戦する農業  |                           | 事業実施の根拠法令等  |         | 土地改良法     |         |         |        |
|        | 関連する事業、計画等          | 第2期長野県食と農業農村振興計画、松本市総合計画、第7次土地改良長期計画  |                           |   |         |           |         |         |        |
|        | 保全対象・範囲<br>受益対象・範囲  | 中信平右岸土地改良区が管理する区域<br>受益面積 A=81ha  |                           |   |         |           |         |         |        |
|        | 着手年度                | 平成29年度  | 事業期間                      | 5年間   | 事業費(千円) | 財源内訳(千円)  |         |         |        |
|        | 完成年度(見込み)           | 平成33年度  | 費用対効果                     | 1.3   |         | 国庫        | その他     | 県債      | 一般財源   |
|        | 全体事業内容(主な工種)        | 畑地かんがい施設工 L=10,500m<br>農道工(水路兼用道路) L=500m   |                           |   | 800,000 | 400,000   | 200,000 | 180,000 | 20,000 |
|        | 年度事業内容(主な工種)        | 測量設計 1 式  |                           |   | 34,800  | 17,400    | 8,700   | 7,000   | 1,700  |
|        | 事業効果                | 直接的効果(定量的・定性的)  | 作物の生産性向上、維持管理費の軽減、浸水被害の防止 |   |         |           |         |         |        |
|        |                     | 間接的効果(定量的・定性的)  | 耕作放棄地の発生抑制<br>農業集落の定住促進   |   |         |           |         |         |        |
| 評価の視点  | 必要性                 | ○受益戸数:178戸<br>○受益農地面積:81ha<br>○農地利用集積率(目標):38%<br>○高収益作物への転換:高収益作物の割合100%   |                           |   |         |           | 評価      | A       |        |
|        | 重要性                 | ○畑かんの破管数:近年5年で22回<br>○農地利用集積率(目標):38%<br>○人・農地プラン:H27.9見直し<br>○地域指定:特定農山村<br>○日本型直接支払制度:検討中<br>○耕作放棄地の解消:耕作放棄地なし  |                           |   |         |           | 評価      | A       |        |
|        | 効率性                 | ○費用便益比(B/C):B/C=1.3<br>○事業期間:5年間(H29～H33)<br>○工法等の比較検討:加圧散水方式の比較検討  |                           |   |         |           | 評価      | B       |        |
|        | 緊急性                 | ○近年の自然災害:H26年2回<br>○道路の状況:未改良<br>○現況用排水能力:受益面積の50%影響<br>○用水の状況:老朽化(45年経過)<br>○農業就業人口に占める高齢者の割合:63%  |                           |   |         |           | 評価      | A       |        |
|        | 計画熟度                | ○事業情報の共有:関係者を中心に懇談会の実施<br>○地域の取り組み:準備委員会の設立し、積極的な取り組み<br>○地域の合意形成:事業目的について合意形成が図られている<br>○住民との協働:組合員による維持管理<br>○都市住民との交流:計画なし   |                           |   |         |           | 評価      | B       |        |
|        | 部意見                 | 老朽化した石綿管の撤去更新であり、緊急性が高い。排水不良により営農に支障をきたしているため作物の生産性向上のため必要性が高い。   | 行政改革課意見                   | 過去の事業で整備したかんがい施設の老朽化により農業用水の安定供給に支障をきたしていることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。 | 評価結果    | ○         | 総合評価    | A       |        |

事業概要説明図表

管路埋設道路

破管状況(石綿管)

|                     |   |
|---------------------|---|
| ①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景 | 第1次農業構造改善事業(昭和44年～45年)により整備し、45年以上が経過した石綿管等であり、老朽化による破管や加圧散水エリアの不安定な圧力のため散水への支障と維持管理に大変苦慮している。施設の更新により、農業経営の安定及び農業の維持を図ることが急務である。 |
| ②地域からの要望経緯及び地域の関わり  | 平成24年度から施設管理者である中信平右岸土地改良区が更新整備についての検討を行ってきた。受益者の意向調査を行い、早急な更新整備が必要として、平成24年7月に中信平右岸土地改良区から松本市へ要望された。計画的な更新整備について、地域の理解と協力を得ている。  |
| ③事業説明等の経緯           | H24年6月:「更新整備の賛否について」のアンケート調査を実施<br>H25年7月:全組合員を対象とした更新事業に関する意向調査を実施<br>H24年6月～H25年10月:役員・運営委員による検討会、地元説明会等を複数回実施                  |
| ④他事業・プロジェクトとの整合、関連  | 第2期長野県食と農業農村振興計画、松本市総合計画、第7次土地改良長期計画に基づき、優良農地の整備保全、担い手農家の確保のため土地基盤整備を推進する。  |
| ⑤自然環境・生活環境への影響と配慮   | 排水被害の解消による土砂の流出防止や、石綿管による健康被害を防止。   |
| ⑥地域活性化への影響と配慮       | 用水の安定供給と維持管理費の節減により、耕作放棄地の発生防止や農業集落の定住促進が図られる。  |
| ⑦その他                | 事業代表地点の緯度経度<br>北緯:N 36° 8' 39.2"<br>東経:E 137° 53' 19.8"   |